

平成27年2月の思いやり通信

太陽光、20円台後半へ下げ — 大型発電買い取り額、2段階で
過度な集中を是正 経産省調整



経済産業省は、再生可能エネルギーの2015年度の買い取り価格の議論を始めました。主に企業が持つ大型（出力10キロワット以上）の太陽光発電の買い取り価格を4月と7月の2段階で引き下げます。現在の1キロワット時あたり32円（税抜）から20円台後半に下げる方向で調整。導入が遅れる地熱や風力、バイオマス、中小水力は価格を据え置き、普及を後押しします。
（2015年1月16日 日本経済新聞記事から抜粋）

太陽光パネル熱再利用 — シャープ、住宅向け 暖房・給湯に



シャープは、住宅の屋根に設置した太陽光パネルで発生する熱を回収して、暖房や給湯に利用する省エネ設備を開発。今年春に欧州を皮切りに販売を始めます。

顧客の電気代を最大で4割程度削減できます。

太陽光パネルは表面温度が摂氏20～25度の時に最も効率的に発電します。夏場などに50度にもなるパネルの温度を下げて発電効率を高めることが可能です。

設置費用は1戸当たり数百万円程度。

（2015年1月17日 日本経済新聞記事から抜粋）

太陽光発電、都市の屋根で — 伊藤忠・東芝など
駐車場・工場活用 2年で50カ所建設



伊藤忠商事と東芝は、環境コンサルタント大手の環境経営戦略総研と組み、駐車場と屋根の活用に特化した太陽光発電事業を2月に始めます。今後2年で50カ所程度に発電設備を建設します。電力会社の送電網の受け入れ能力に余裕のある三大都市圏を中心に展開します。

（2015年1月28日 日本経済新聞記事から抜粋）